

編集後記

▼昨年8月からの産休・育休を経て、10月から復帰しました。久しぶりの仕事に浮かれ気味です。新たな気持ちで頑張っていきますので、皆さんよろしくお願ひします。
▼復帰して数日後に、娘が熱を出してしまい、すぐにお休みをいただきました…。なかなか思った通りにはいかないものですよな。

(濱)

▼広報担当のエース濱さんが帰ってきました。広報編集が3人になると、少し気持ちに余裕ができますね。この余裕を活かして、より分かりやすい広報誌づくりができるよう頑張ります。▼町制施行120周年記念式典で放映された記念映像、すごく良かったです。皆さんも厚岸町公式YouTubeチャンネルで見てみてはいかがでしょう？
(北本)

▼5年に一度の国勢調査にご協力いただきありがとうございます。国勢調査は、その時代の『いま』を調査し、現在そして未来の日本の国づくりや皆さんの暮らしに役立てられます。▼わが家の食卓にも『サンマ』が並ぶようになりました。刺身や塩焼きなど、箸が進み、秋の味覚を満喫しています。(芳賀)

ひとのうごき

●人口 / 9,096人 (-23)
男 / 4,295人 (-12)
女 / 4,801人 (-11)

●世帯 / 4,358世帯 (-4)

●出生 / 2人 ●転入 / 7人

●死亡 / 15人 ●転出 / 17人

9月30日現在 ()内は前月比

■発行 / 厚岸町
■編集 / 総務課広報統計係

〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <https://www.akkeshi-town.jp>
E-mail soumu@akkeshi-town.jp
法人番号 5000020016624



花を飾る習慣が根付いてほしい
大槻 賢人さん (40歳)

「同じ品種でも、花の向きや枝の別れ方など一つ一つ違って、アレンジメントも全く同じものが作れないことが花の魅力。その時にある花を見ながら作る楽しさがある」と花屋ならではのやりがいを感じており、「花を飾る習慣が根付いてくれたら嬉しい。プレゼントの選択肢の一つになれば」と笑みがこぼれた。

オープンして1年5ヵ月程。今では常連のお客さんも増えてきている。

Close up - クローズアップ -

真栄にある花屋『青花』代表の大槻さん。釧路の花屋で17年程勤めていたが、現店舗のオーナーに「任入れやディスプレイなど、全て自由にやっていいよ」と誘われたことがきっかけとなり、昨年5月にオープンし、一人で店を切り盛りしている。

あまり目にしない花を意識して並べており、町民に受け入れられるかな不安もあったが、興味を持ってきて嬉しく話す。

「同じ品種でも、花の向きや枝の別れ方など一つ一つ違って、アレンジメントも全く同じものが作れないことが花の魅力。その時にある花を見ながら作る楽しさがある」と花屋ならではのやりがいを感じており、「花を飾る習慣が根付いてくれたら嬉しい。プレゼントの選択肢の一つになれば」と笑みがこぼれた。

#あっけしの暮らし
厚岸町公式 Instagram
フォローをお願いします！

9月21日から10月20日までの投稿で、『いいね!』が一番多かった投稿をご紹介します。この投稿は、86件の『いいね!』がありました。

akkeshi no kurashi ...
Akkeshi-gun, Hokkaido, Japan

秋の夜長に読書はいかがですか？釧路市出身の絵本作家の加藤休ミさんがクレヨンで描くお魚は、とても美しく、とても美味しそうに見えます。11月にはクレヨン絵本原画展も開催されます。読書の秋に情報館を訪れてみませんか？
#読書
#本の森厚岸情報館
2020年10月9日

厚岸町公式フェイスブックでもInstagramの投稿を見ることができます！